

「がん診療において整形外科診療がどの程度求められているか」に関する 研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年4月17日～2026年3月31日

〔研究課題〕

がん診療における運動器管理のニーズ

〔研究目的〕

がん診療拠点病院におけるがん関連運動器管理のニーズの実態を明らかにすることが目的です。

〔研究意義〕

がん患者さんでは移動能力が低下し、運動器の問題による移動能力の低下（ロコモティブシンドローム）が一般住民よりも頻度が高いことがわかってきました。しかしながら、がん診療において、整形外科診療がどの程度必要とされているかはよく分かっていません。本研究で、がん診療における整形外科診療の必要性が明らかとなれば、今後整形外科ががん診療により積極的に関わるようになることが期待されます。

〔対象・研究方法〕

2021年10月～2022年3月に帝京大学医学部附属病院において、他科から整形外科へ院内紹介があった症例を対象とします。紹介文と診療録から、各症例の以下の項目を調査します。

- ・紹介文にがん疾患名を含むか否か
- ・がん疾患名を含む場合はがん種の名前
- ・紹介目的
- ・紹介目的が症状の場合は主訴
- ・紹介目的が症状の場合は整形外科の最終診断
- ・症状ががん関連の場合はがんロコモの分類（何が理由で運動器の問題を生じているか）
- ・症状ががん関連以外による場合は最終診断
- ・紹介目的が画像の場合は整形外科の最終診断

そのうえで、全紹介数に対するがん関連の紹介数の比率や、がんロコモのそれぞれの type の比率、画像に関する紹介のうち骨転移等のがんに起因する病態だった比率を算出します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部整形外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

この研究では、登録の際には患者さんの個人情報を全て加工し、個人を同定できないようにするためデータの調査のときに個人情報が漏れないように、配慮します。また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、個人情報などが公表されることは一切ありません。帝京大学では、研究終了後に電子化したデータセット等を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄します。

[その他]

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません。研究参加に対する謝金はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 氏名 今西淳悟 職名 准教授
所属: 帝京大学医学部整形外科学講座
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-4097 (直通)